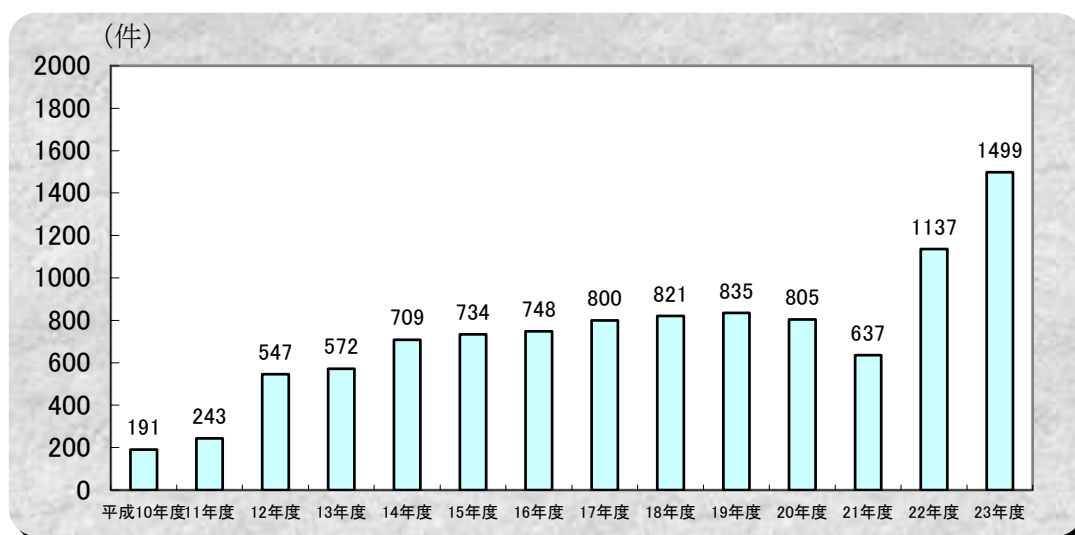


1 特 集

(1) 児童虐待防止対策 ～すべての子どもに明るい笑顔を～

児童虐待に関する悲惨な事件の報道が後を絶たず、深刻な社会問題となっています。ビジョンでも、「児童虐待防止対策」の項目を設け、課題と方向性、主要な取組を明らかにしたところですが、平成23年度の本県の児童相談センター（名古屋市を除く。）への児童虐待相談件数は1,499件と、平成22年度の1,137件に比べ362件増加し、過去最多件数を大幅に更新しました（図1）。

図1【児童虐待相談件数（愛知県）】

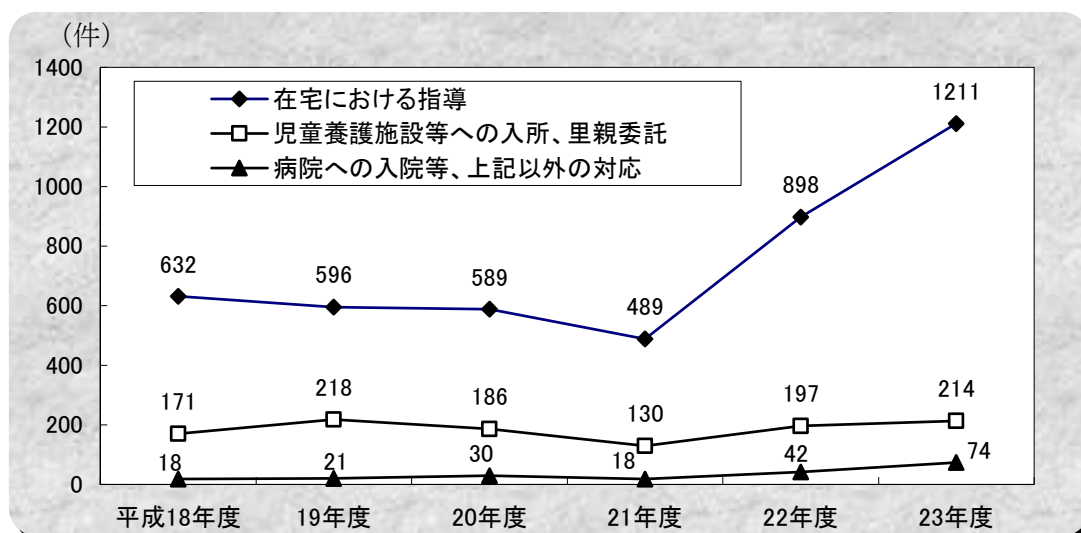


資料：愛知県健康福祉部

これは、オレンジリボンキャンペーン（虐待防止を呼びかける啓発事業）が定着してきたほか、平成22年7月に大阪市で幼い姉弟が放置され死亡した事件や平成23年10月に名古屋市名東区で発生した中学生の虐待死亡事件などの相次ぐ重大な児童虐待事件に関する全国的な報道を受けて、社会的な関心がより一層高まり、相談件数の増加につながったものと考えられます。

このことは、児童を保護者から分離する必要があると判断して施設への措置等を行うに至った件数に大きな変化はなく、保護者から分離せず、在宅における指導によって対応した件数が増加（図2）していることからもうかがえます。

図2 【相談後の対応状況（愛知県）】



資料：愛知県健康福祉部

児童虐待は、子どもの心と体に深い傷を残すだけでなく、その後の人格の形成に大きな影響を及ぼします。虐待を予防することはもちろん、早期に発見し、対応することが重要です。ここでは、児童虐待の発生予防や早期発見・早期対応、そして、児童虐待対策の中核的専門機関である児童相談センターの機能強化に関して、平成23年度の主な取組の実施状況を振り返ります。

※ 児童相談所と児童相談センターについて

児童福祉法第12条では、「児童相談所」を設置することが義務付けられています。本県では、この児童相談所業務を行う機関の名称を「児童相談センター」としております。本書では、愛知県固有の機関を示す場合のみ「児童相談センター」と、名古屋市やその他の自治体を含め、児童相談所業務を行う機関を総称する場合は、「児童相談所」と表記します。

児童虐待防止に向けた啓発

児童虐待の発生予防・早期発見・早期対応は、市町村や児童相談所のみでの実現できるものではありません。子育てに悩む保護者が早めに関係機関へ相談することや、保育所、幼稚園、学校、医療機関などを始めとする様々な機関や地域の方々が、虐待防止への意識を高め、情報を共有し連携することが必要です。

すべての子どもに明るい笑顔が輝くことを目指し、児童相談所を設置している愛知県の大村知事と名古屋市の河村市長は、平成23年7月に連名で、「児童虐待の根絶に向けた共同アピール」を表明し、児童虐待の発生予防、早期発見・早期対応への協力を、保護者や地域社会に向かって強く訴えました。

【児童虐待の根絶に向けた共同アピール】
虐待の根絶を訴える大村知事と河村市長



児童虐待の根絶に向けた共同アピール

子どもはかけがえのない宝であり、子どもたちの健やかな成長は皆の共通の願いです。

子どもたちの生命と安全を守るため、児童相談所を設置する愛知県と名古屋市は、緊密に連携し、全力を挙げて児童虐待防止に取り組むことを改めて確認しました。

児童虐待の根絶に向けて、子どもを虐待から守る地域づくりを推進するため、地域のみなさまにもご協力をお願いいたします。

【地域のみなさまへ】

- ◆ 地域の子どもたちを見守ってください。
地域での見守りがあると、子どもたちは安心して暮らすことができます。日ごろの近所づきあいや地域活動等を通して、子どもたちを見守ってください。
- ◆ 通告をためらわないでください。
通告者の情報は保護されます。少しでも気になる子どもがいたら、ためらわず通告してください。あなたの1本の電話が子どもの命を救うことになるかもしれません。

【保護者のみなさまへ】

- ◆ 気軽に相談してください。
子どもの成長とともに、「親」になっていくのです。誰でも子育てに悩みます。一人で悩まず、気軽に相談機関にお電話ください。

平成23年7月14日

愛知県知事 大村 秀 章

名古屋市市長 河 村 たかし



オレンジリボンには、子どもの虐待を防止するというメッセージが込められています。
毎年11月の児童虐待防止推進月間には、オレンジリボンキャンペーンを実施しています。

また、児童虐待防止の象徴である「オレンジリボン」の普及・啓発を通して、多くの方に児童虐待問題に関心を持ってもらうため、毎年11月の児童虐待防止推進月間に「オレンジリボンキャンペーン」を実施し、児童虐待の防止を呼びかけています。

平成23年度は、「子どもの笑顔 大人みんなで守りたいから」をキャッチフレーズに、名古屋市と共同で、小学生以下の子どもと保護者による啓発パレードを実施しました。「子どもの笑顔」をプリントした傘を持った子どもと保護者が、大村知事らと一緒に、名古屋市・豊橋市内で、広く県民の皆様には虐待防止を呼びかけました。

虐待は、どの家庭でも起こりうるものであり、早期発見・早期対応が最も重要です。

今後も引き続き、子育てに悩む保護者に、気軽に相談するよう呼びかけるとともに、地域全体で子どもを見守る必要性について啓発していくことが必要です。

○ 日 時 平成23年11月3日（木・祝）

○ 会 場 名古屋会場：若宮大通公園等／豊橋会場：豊橋駅前広場等

